小口ノ粮穀ヲ根氣ヨク買集メ之ヲ他ノ粮棧ニ賣却スルトコロニ小粮棧トシテノ活動ノ餘地カアツタ。今回ノ糧石市場ノ設立ニ依リ賣手タル農民ト買手タル業者カ一場ニ集ツテ糶ノ方法ニ依リ毛併取引カ爲サレ場外ノ毛併取引ハ一切禁止サレタ爲之カ買付ニ當ツテハ從來ノ如キ緣故關係或ハ信用乃至資本ノ大小ニ關係ナク一見大小粮棧ハ平等ノ立場ニ置カレタ如クテアルカ事實ハ之ニ反シ小粮棧ノ立場ヲ困難ナラシメタ。糶賣買ノ結果ハ業者間ノ競爭上自然ト割高トナリ之ヲ買ツテ右カラ左ニ賣ツテ見テモ利益カナイノミナラス逆ニ損スルノカ普通テアツテ尚之ヲ見越シテ迄モ彼等カ買付ルノハ他日ノ値上リヲ待ツテ賣却シ利得セムトスルニ在ルノテアツテ勢ヒ營業ハコミツシヨン主義ヨリ投機ニ生キサルヲ得ナクナツタ。從テ幸ニ彼等ノ豫期シタ通値上リスレハ問題ハナイカ反對ニ値下リニ遇ヘハ大粮棧ハ之ニ耐ヘテ豫期シタ相場迄持續シテ其ノ目的ヲ達スルコトモ資本的ニ可能テアルカ小粮棧ハ資力續カス途中テ投ケサルヲ得ス斯シテ小粮棧ノ經營ハ益困難トナリ地方ニ依リテハ相當ニ閉業ヲ見ルニ至ツタ。

左ニ綏化、興隆鎭、呼蘭ニ於ケル現在粮棧竝閉業粮棧ニ就テ調査シタトコロヲ擧ケテ見ヤウ。

綏化縣城粮棧

(1) 現存粮棧

粮棧名	開設年月	資本金
慶和長	光一八、八	一〇八、〇〇〇
天豐東	康一、一一	五、〇〇〇
永盛東	大二、九	五、〇〇〇
慶盛長	民九、九	二六、〇〇〇
榮昌盛	民二〇、九	一〇、〇〇〇
三泰棧		
利遠長	康二、四	六、〇〇〇
聚昌盛	民一三、七	六八、〇〇〇
文盛長	康三、八	三、〇〇〇
慶濟成	康一、九	五、〇〇〇
永和	民一九、八	二四、〇〇〇
德裕恒	宣三、一	三八、四〇〇
志和祥	大二、七	三、〇〇〇
榮元亨	康一、一〇	三、〇〇〇
德盛興	康四、一一	二、〇〇〇
亞東	康四、一一	二、五〇〇
德順成	康一、九	一、〇〇〇
人和厚	民二〇、四	八八、一二五
和泰長	康四、五	一〇、〇〇〇
源順東	康三、一〇	一〇、〇〇〇
華和成	康四、二	二、四〇〇
天順東	康三、九	二、〇〇〇

福增盛	康三、五	七、〇〇〇
福德興	康一、九	一、五〇〇
長發益	康二、八	一一、〇〇〇
榮豐厚	康二、八	八、〇〇〇
信和成	康二、一〇	九、〇〇〇
福興	康二、二	一〇、〇〇〇
廣源厚	康四、一一	五、〇〇〇
公聚	康四、八	一〇、〇〇〇
東興厚	大三、二	二八、〇〇〇
天合順	康三、一二	二、〇〇〇
信成永	康四、九	二、〇〇〇
德隆厚	康四、一〇	五、〇〇〇
計 三四軒		

(2) 康德四年十一月以降閉業粮棧

粮棧名	閉業年月	資本金
永順長	康四、一二	一〇、〇〇〇
永泰祥	康四、一二	一一、〇〇〇
信成義	康四、一二	九、〇〇〇
廣發厚	康四、一一	一〇、〇〇〇
三盛棧	康四、一二	五、〇〇〇
裕大	康四、一二	二、五〇〇
福增長	康四、一二	五、〇〇〇
源和盛	康四、一二	一二、〇〇〇
同業	康四、一一	一、〇〇〇
大興昌	康五、一	二、〇〇〇
計一〇軒		六七、五〇〇

興隆鎮粮桟

(1) 現存粮桟

粮桟名	兼業	資本金	粮桟名	兼業	資本金
慶和長	専業	三〇、〇〇〇	同源湧	焼鍋、油房、雑化、粮米	一五、〇〇〇
慶豊隆	〃	七、〇〇〇	興源峻	雑貨、油房、粮米	一八、〇〇〇
天成玉	〃	七、〇〇〇	恒聚増	〃	一〇、〇〇〇
人和信	〃	八、〇〇〇	天合東	〃	一八、〇〇〇
天興長	〃	五、〇〇〇	永増源	雑貨、粮米	四、〇〇〇
福源厚	〃	二、〇〇〇	聚興長	〃	八、〇〇〇
同発慶	〃	三、〇〇〇	宏順興	〃	四、五〇〇
徳記	〃	二、五〇〇	同聚成	〃	二、〇〇〇
福源盛	〃	六、〇〇〇	天増祥	〃	二、〇〇〇
福源東	〃	四、〇〇〇	同興長	〃	三、〇〇〇
計二〇軒					一五八、〇〇〇

(2) 康德四年十一月以降閉業粮棧

粮棧名	兼業有無	閉業年月	資本金
天增長	專業	康五、二	一〇、〇〇〇
義和隆	〃	康五、二	一五、〇〇〇
新盛興	〃	康五、一	六、〇〇〇
計 三軒			三一、〇〇〇

呼蘭縣城粮棧

(1) 現存粮棧

粮棧名	開設年月日	資本金
和順利	大二、八、一	一二、〇〇〇
文記	康一、四、四	四、〇〇〇
德盛長	康二、八、一	五、〇〇〇
復興長	康一、八、一五	二八、〇〇〇
東發合	大二、九、八	四、〇〇〇

孚豐源	康二、七、二二	四、〇〇〇
長記	康一、一、一	三、〇〇〇
永和盛	康三、五	九、七五〇
永和興	康四、八	六、〇〇〇
東昌源	康三、八	四、五〇〇
東興源	大二、二	三、〇〇〇
計一一軒		八三、二五〇

(2) 康德四年十一月以降閉業粮棧

粮棧名	閉業年月	資本金
興記	康五、一	一二、〇〇〇
永源長	康四、一二	四、〇〇〇
計二軒		一六、〇〇〇

卽チ右ノ表ニ依レハ綏化ニ於テハ現存粮棧三十四軒ニ對シ閉業粮棧十軒ノ多キヲ出シ興隆鎭ニ於テハ二十軒ニ對シ三軒、呼蘭ニ於テハ十一軒ニ對シ二軒ノ閉業粮棧ヲ出シテ居ル。勿論之ヲ以テ直ニ市場設立ノ影響トスルハ早計テアツテ他ノ事情ニモ依ルコトハ謂フ迄モナイカ一面之カ相當原因シテ居ルトモ思ハレル。

ハ　經費ノ節減

交易市場ニ於ケル取引ノ結果粮棧ハ從來營業經營費中省略シ得ルモノカ出來タ。例ヘハ從來屯及城外ニ派遣セル買頭的（仲買人）カ不要ニナツタコト、或ハ農民ヲ宿泊セシメ之ニ饗應シテ居タ食事費カ不要ニナツタコト等テアル。殊ニ市場カ整備シ計量、決濟等ノ代行ヲ統制的ニ爲スニ從ツテ此ノ傾向ハ益々著シクナルコトテアラウ。

ニ　不正業者ノ減少

市場設立ニ依ル取引ノ公正化ト相俟ツテ從來ノ不正業者カ減少シ取引ハ明朗化シ却ツテ眞面目ナ業者ニトリテハ取引シ易クナツタ點ハ市場設立ノ主旨ニモ叶ヒ其ノ效果ノ現レトモ見ラレル。

ホ　粮棧ノ事業化的傾向

來粮棧ニシテ雜貨業ヲ兼營スルモノカ多カツタ。之ハ一面危險ヲカバースル爲トモ見

ラレルカ尙此ノ外農民ノ日用品ヲ掛ニテ賣リ此ノ見返リトシテ收穫時期ニ糧石ヲ買取リ此ノ間利盆ヲ得テ居タノテアルカ市場設立ニ依リ此ノ繰リハ破壞サレ之等兩者兼業ノ妙味ハ著シク減退シタ爲ト見ラレル。

第四章　結　語

最後ニ交易市場ニ對スル二、三ノ私見ヲ述ヘテ結語ニ代ヘヤウ。

1　農民ノ糧石交易市場忌避

這次ノ調査ニ於テ農民ノ交易市場忌避的態度ノ濃厚テアツタノハ意外テアツタ。之ハ勿論農民自體ノ無智無理解ニ基クモノカ主テ時ノ經過ト共ニ解消サレルモノト思フカ、一面又市場側ノ一考ヲ要スル點ナシトシナイ。

今糧石市場忌避ノ主要ナ原因ト思ハレル諸點ヲ擧ケレハ左ノ通テアル。

イ　手續ノ煩雜

現在市場テ行ハレテ居ル種々ノ手續ハ必要ノ限度ヲ越ヘヌモノテアルカ無智ニシテ無經驗ナル農民ニトリテハ相當煩瑣テアリ面倒テアリ厭ハシキモノノ如クテアル。殊ニ市場ノ開設カ急カレ準備期間カナカツタ爲、設備ノ不整備、係員ノ不足不慣、取引ノ澁滯等ハ一層之ニ拍車ヲカケルコトニナル。

ロ　恐　怖　感

長年暴政ノ下ニ虐ケラレテ來タ農民ニトリテハ建國後幾分是正サレタトハ云ヘ役人ニ對スル一種ノ恐怖感カ今尙相當彼等腦裡ニ奥深ク浸透シテ居テ一朝ニシテ斯ル不安ヲ一掃スルハ不可能ニ近イト云ヒ得ルテアラウ。依テ斯ル不安ト云フカ一種ノ恐怖的威壓ヲ受クル

市場係員トノ折衝ハ寧シ農民ノ厭フトコロニシテ、過去ノ糧棧トノ自由ナ取引ニ慣レヲ持ツハ已ムヲ得サル心理テアラウ。從テ此ノ點市場係員ノ訓練カ肝要テアル。官廳的氣風ヲ一掃シ親切溫情ノ心構ヘカ望マシイ。

ハ　宣傳不充分ヨリ來ル無理解

宣傳不充分ノ爲農事合作社竝交易市場設立ノ趣旨カ充分ニ理解サレ居ラス、農民ニ依ツテハ手數料ノ收取ヲ目的トシタ一種ノ徵稅機關ノ如ク解シテ居ルモノモアツタ。此ノ點今後充分ノ宣傳ヲ要スル。

以上ノ三項目カ市場忌避ノ主ナ原因テアラウ。

交易市場忌避ノ一例ヲ呼蘭ニ就テ云ヘハ、尤モ本縣市場ハ設立ト同時ニ他ニ率先シテ此制ヲ採用シタ點モアルカ從來同地ニ田廻ツテ居タ望奎縣下ノ糧穀カ呼蘭テハ單ニ車店テ宿泊スルノミテ其ノ儘通過シテ哈爾濱ニ搬出サレテ居ル事實ヲ知ツタ。斯ル現象ハ單ニ呼蘭一縣ニ止マラス遠クハ海倫邊ヨリモ哈爾濱ヘ馬車輸送カ行ハレテ居ル。夕方トモナレハ糧石ヲ滿載セル馬車カ續々ト呼蘭ノ車店ニ入込ムカ曉方トモナレハ市場ニ入ラス其ノ儘又南下ヲ續ケテ行ク。不審ニ思ヒ農民ニ直接聽取シタトコロ異口同音ニ哈爾濱ニハ合作社カナシ「很痛快的」ト答ヘ去ツタ。

右ノ現象ヨリシテモ如何ニ農民カ現在糧石市場ヲ忌避シテ居ルカノ一面ヲ窺ヒ得ルニ足ルト思フ。

2　代行行爲ノ擴張ト斤制ノ統一

計量及代金ノ決濟ハ、從來ト異ルトコロナク買方糧棧ノ院內ニ於テ行ハレテ居ル。之テハ、假令市場ニ於テ公正ナル價格カ決定セラレタトシテモ、農民ノ文盲ト數的觀念ノ缺如ニ依リ最後ニ一部不正業者ニ乘セラレル餘地ヲ殘シテ居ルモノテアル。試驗期タル經營ノ第一年ヲ過シタ市場ハ來ルヘキ新穀出廻期ヨリ一齊ニ計量、決濟ノ代行行爲ヲ統制的ニ行フヘキテハナカラウカ。

次ニ、糧棧ハ石建ノ容積ヲ以テ農民ヨリ買取リ、斤建ノ重量ヲ以テ輸出商ニ賣却シテ來タ。之ハ糧棧ニ種々ノ作爲ヲ弄スル間隙ヲ與ヘルト同時ニ滿洲ノ特產取引ヲシカク煩雜難澁ナラシメルモノテアツタ。從テ兼テヨリ一部識者間ニ一貫的斤建制カ主張サレテ居タカ、何等ノ準備ナク之ヲ實施スルコトハ却ツテ糧棧側ニ乘スル機會ヲ與ヘルモノテ其ノ爲ニ其ノ實現ヘ躊躇サレテ居タ。今ヤ、交易市場カ計量ノ代行行爲ヲ爲スコトニ依リ此ノ多年ノ懸案ハ一擧ニシテ解決ヲ見ルノテナカラウカ。滿洲ノ特產ノ配給過程カ其ノ最初ヨリ最後ニ至ル迄斤建値、取引單位トモ一貫的ニ斤制ヲ以テ統制サレタナラハ取引ハシカク簡易化サレ公正化サレ蓋シ其ノ影響スルトコロ大ナルモノカアラウ。

3 縣外出境ノ自由

交易市場設立ノ當初ハ、生産品ノ縣外搬出禁止セラレタトコロモアツタカ現在テハ一般ニ許可制度カ採ラレテ居ル。然シ其ノ許可申請ノ手續カ煩雜ナル爲無智ナ農民ニ取ツテハ禁止ト同様ノ效果ヲ與ヘテ居ルカ如クテアル。爾來農民ハ農閑期ニ於ケル自己ノ勞働力ト自己ノ運搬具ヲ以テ、ヨリ有利ナ中心市場ニ搬出シ、配給費用ノ一部ヲ負擔シテ來タモノテアルカラ、縣外出境ハヨリ自由性カ認メラルヘキテアラウ。

4 農民ト輸出業者トノ結合關係

交易市場ノ出現ハ、交易市場ヲ通シテ農民ト輸出業者トノ結合カ觀念的ニ考ヘラレタカモ知レヌ。然シ糧棧ヲ排除シテ兩者ノ直接結合ハ左記ノ如キ理由ニ依リ困難視セラル。

(一) 相場上ノ關係

之ハ最モ大キナ原因ノ一ツテアル。元來農産物、特ニ海外市場ニ依存スル特産物ニ在ツテハ之カ相場ハ世界各國何レヲ見テモ逆鞘相場ヲ呈スルノカ常道テアツテ滿洲モ勿論此ノ例ニ漏レス原産地タル奥地相場ノ方カ大連乃至ハ哈爾濱相場ヨリ夫レ々ノ運賃、諸掛ヲ差引タモノヨリ常ニ高イ場合カ多イ。斯ノ如キ現象ハ、糧石市場ノ設立ニ依リ更ニ拍車ヲ加ヘラレ輸出業者ノ直接市場ヘ進出シテノ買付ハ何等ノ妙味モナク依然トシテ從來通糧棧ヨ

リ買付ケル方カ割安テアリ有利テアル。

然ラハ何故ニ有利テアルカヲ見ルニ、糧棧業者ノ糧石市場テノ日々ノ買付ハ糶賣買ノ結果同業者間ノ競争トナリ自然高値ニナリ勝テアリ、斯ル相場テ左右ニ輸出業者ニ賣ラムトスルモ特別ナ事情ナキ限リ彼等カ之ニ應スヘシモ無イコトハ明カテアル。斯テ糧棧業者ハ各自ノ永年ノ經驗ニ基ク相場觀ヲ働カシ手許資金其ノ他ヲ考慮シ時間的ニスペクレーションヲナスコトニ依リ其ノ間ノ相場ノ綾ニ乘シテ利得セムトスルモノテアル。従テ市場テノ買付當時ハ當然引合ハヌモノモ後日ニ至リ利乘レハ割安ニテモ手離スコトトナリ、此ノ他金融關係其ノ他ニ依リ投物ノ生スル場合モアリ得ルヲ以テ糧棧ヨリ買ツタ方カ有利テアル反面市場テノ買付ハ妙味ナイトモ云ヒ得ル。

右ノ事情ヲ通シテ考慮ヲ要スル點ハ、糧棧カ利害相反スル兩極端ニ立ツ農民ト輸出業者ノ間ニ介在シ危險ヲ分擔シツツ永年ノ經驗ニ基キ安イト思ヘハ買ヒ、高イト思ヘハ賣ルコトニ依リ一方絶エス價格ヲ平均化スル作用ヲナスト共ニ、他方不當ナ安値ニテノ海外輸出ヲ阻止シ或程度迄逆ニ海外市場ヲリードスル（輸出品タル限リ主トシテ普通海外市場ニ支配サレルコトハ勿論ナルモ）作用ヲナスト云フコトテアル。

従テ若シ現状ニ於テ糧棧ヲ排除シテ直接市場ヲ通シテ農民ト輸出業者ト結合サレルコト

トナレハ、叙上ノ如キ現在ノ逆鞘現象ハ一應解消サレルモノト思ハレルカ此ノ場合其ノ差額分ハ兩者ノ内何レカ負擔スルカノ問題テアル。海外市場ニ支配サレル輸出品タル限リ之ヲ取扱フ輸出業者カ之ヲ負擔スルトハ考ヘラレナイコトテ其ノ結果ハ農民ノ負擔ニ歸スルコトハ云フ迄モナイ。

右ノ觀點ヨリシテ、中間商業機關排擊ノ唱ヘラレツツアル今日尙糧棧カ依然トシテ相當根强イ存在理由ヲ有シテ居ルモノト思ハレル。

(二) 需要ノ大量ナルコト

輸出業者ヨリスレハ海外輸出ヲ主トスル以上如何ニシテ海外ノ大量註文ノ需要ニ應シテ比較的價格ヲ吊上ケスシテ相當纒ツタ數量ヲ買付ケ得ルカハ極メテ肝要テアル。

然ルニ市場ニ於ケル現在ノ買付ヲ見ルニ日々出廻ル小口宛ノ數量ヲ、而モ買手タル糧棧業者多數集ツテ雜選サレル市場テ一諸ニナツテ買付ケテ見テモ徒ニ價格ヲ吊上ケルノミテ纒ツタ數量ノ買付ハ望マレヌ。

(三) 現物ノミノ取引ニ限ラレテ居ルコト

輸出業者ヨリスレハ、通常輸出品ノ契約成立スルト同時ニ、積出期日ニ應シテ、現物ヲ必要トスルモノハ現物ヲ以ツテシ、先物ニテ可ナルモノハ先物ヲ以テ手當スルコトヲ常ト

スル。

船積期日ニ應シテ、信用確實ナル糧棧ト先物契約ヲ結ンタ方カ輸出業者トシテハ總テニ有利テアリ且便利テアル。此ノ點、現實ニ當日市場ニ搬入サレタ現物卽嚴密ナル意味ノ現物取引ニ限ラレテ居ル現在ノ交易市場ノ取引テハ輸出業者ノ要求竝便利ニ副ハヌモノカアル。

(四) 檢査ノ不正確

糧石市場ノ檢査ニ就キテハ先ニ詳述セル如ク設立匆々ノ際ニテ檢査員ノ不足、設備竝技術ノ未完成等ノ爲之カ檢査鑑定ノ誤差ニ基ク不測ノ損失ヲ蒙ルコト等屢アリ、從テ輸出業者側ヨリスレハ之等ノ危險ヲ糧棧ニ轉化セシメタ取引方法（例ヘハ混保三等品ト云フカ如久ニ依ルノカ安全テアル。

尙此ノ關係ヲ一層明白ナラシメル爲現在市場テ買付タモノヲ糧棧カ如何ニ處理シテ居ルカヲ見ルニ、一應ハ檢査員ニ依リ格付ケサレタモノヲ小口ニ各等級、品名別ニ買付ケテ自己院內ニ搬入シタ上、多年混保檢査ニ應シテ來タ經驗ニ依ル優秀ナ鑑定眼ニ依リ更ニ之ニ乾燥若ハ調整ヲ加ヘルカ、或ハ其ノ儘ヲ混保ノ各等級ニ合格シ得ル最低ヲ狙ツテ適宜ノ比率ニ依リ混合シテ混保檢査ヲ受ケルノテアル。

右ノ如ク市場檢査ノ不慣レニ依ル不正確ニ乘シ多年ノ經驗ヲ利用シテノ糧棧活動ノ餘地カ多分ニ殘サレテ居ルトモ謂ヘヤウ。

5　多額ノ諸設費ヲ要スルコト

糧石市場ヨリ買付ヲ爲サムトスレハ各地ニ出張所ヲ設ケルカ、或ハ駐在員ヲ派遣セネハナラス何レニシテモ多額ノ經費ヲ要スル。

6　取扱上ノ不便

糧石市場ニ於ケル買付方法ヲ見ルニ糶賣買ニ依リ買主決定スレハ農民各自ニ之ヲ買主ノ指定スル院内ニ搬出シ此處ニテ計量ノ上代金決濟ヲナスコトトナリ居ル關係上之等小口別ノ個々ノ支拂ハ手數ヲ要スル上ニ數量モ數多ク買フコトモ困難ナ事情ニ在ル。糧棧ノ計量並代金決濟上ノ不正行爲防止ノ見地ヨリスルモ、市場ニ於テ計量並代金決濟等一切ノ代行行爲ヲナスコトハ肝要ニシテ、若シ此ノ點將來市場ノ整備發展ト共ニ實現ヲ見レハ、輸出業者ハ市場ニ定額ノ決濟基金ヲ供託スルコトニ依リ或程度迄此ノ點ノ不便ハ除去シ得ラレルト思フ。

以上ノ如キ理由ニ依リ、輸出業者ノ交易市場ヘノ進出ハ無理テアリ困難テアリ。滿洲テモ一、三其ノ進出カ傳ヘラレタカ、夫レハ試驗的意味シカナカツタモノテ、糧棧ノ存在理由ハ其ノ機能ニ應シテ認メラレルモノテアラウ。配給ノ全過程ヲ一人ノ走者カ、走破スルヨリ"リレー"式ニ各其ノ機能ニ應シバトンタツチシタ方カ合理的テアル。滿洲國政府ノ意圖モ、交易市場ノ出現ヲ以テ直ニ農民ト輸出業者トノ結合ヲ意識シタモノテハナカラウ。

農民ト輸出業者トノ結合ハ、交易市場ノ問題ヨリモ、價格統制ニ對スル國家權力ノヨリ高度ノ發動カ決定的テアル。

製本控

145 函	745 號	年 月 日

北經經濟資料 第105号
北滿(濱江省)ニ於ケル糧石交易市場

備考 1 冊

終

テト2R-4